



Sapporo Gakuin University

学園広報

2003.6.20 No.85

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地
電話 (011) 386-8111
http://www.sgu.ac.jp



地域社会マネジメント研究科の授業風景
右端が高須喜久男教授
(社会連携センター・501教室)

平成十五年度入学式は四月三日(木)、札幌市中央区の



平成15年度入学式 (北海道厚生年金会館ホール)

「地域社会マネジメント研究科」は地域の創造を担う人材を育成する目的、あるいは経営や会計・税

北海道厚生年金会館ホールで行われ、今年度、大学院に開設された「地域社会マネジメント研究科」は二十一名(女性三名)の第一回生を迎えました。「地域社会マネジメント」は、実務に就きながら高度な学業に進もうとしている」と新院長は、「やがて皆さんが高度に指導的な役割を果たすべく、行政やNPOのリーダー

第一回生、21名が入学

地域社会マネジメント研究科

2003年前期「コミュニティ・カレッジ」

一般講座			
心理療法の世界 —こころの悩みは いかにして癒されるか— 文学の散歩道	5/12~毎月曜日 全5回	滝沢広忠 人文学部教授他	
野生生物との共生を考えるpart2	5/9~毎金曜日 全6回	高久真一 元人文学部教授他	
大丈夫? あなたのマネープラン	5/7~毎水曜日 全6回	小川 巖 エコ・ネットワーク代表他	
	6/27・7/8、7/9	白根壽晴 税理士	

市民セミナー			
北海道の未来に向けて —持続可能なまちマネジメント—	5/15~毎水曜日 全5回	上田陽三 大学院地域社会マネジメント研究科長他	
手話への誘い	5/7~毎水曜日 全10回	札幌聴力障害者協会講師	

語学講座(全10回)			
START ENGLISH 初級A	5/12~毎月曜日・昼	KAY 人文学部講師	
同 増設	同 同 同	FLENNER 人文学部講師	
同 初級B	5/15~毎木曜日・昼	MALLOCK 社会連携センター講師	
同 増設	同 同 同	MATTHEWS 非常勤講師	
同 初級C	5/13~毎火曜日・夜	BURROW 社会連携センター講師	
同 増設	同 同 同	BOSSAER 社会連携センター講師	
TRAVEL ENGLISH 初級A	5/12~毎月曜日・朝	WEBB 非常勤講師	
同 増設	同 同 同	MATTHEWS 非常勤講師	
同 初級B	5/16~毎金曜日・昼	IIDA 非常勤講師	
ENJOY ENGLISH 中級A	5/14~毎水曜日・朝	SIMONS 非常勤講師	
同 増設	同 同 同	RYAN 社会連携センター講師	
同 同	同 同 同	PITT 社会連携センター講師	
同 中級B	5/15~毎木曜日・夜	KAY 人文学部講師	
同 増設	5/16~毎金曜日・夜	SIMON S 非常勤講師	
たのしいハングル講座	5/15~毎木曜日・夜	朴 社会連携センター講師	
同 増設	5/16~毎金曜日・昼	同 同	

パソコン講座			
朝 12クラス	昼 14クラス	夜 5クラス	計 31クラス

*朝10:00~12:00 昼13:30~15:30 夜18:30~20:30
*一般講座および市民セミナーは全て夜講座

応募者、1,126名に達す —2003前期コミュニティ・カレッジ

今年度コミュニティ・カレッジは五月七日に社会連携センター(札幌市中央区大通西六丁目)で開講しましたが、全講座の応募者が初めて一、〇〇〇名を超え、延べ一、二六名に達しました。交通の便が極めて良いこと、教室の数がゆとりができたこと、教材・機材が充実したことなどが追い風となりましたが、開設以来四年目を迎えて「札幌学院大学コミュニティ・カレッジ」の知名度が浸透し、評価が高まりつつある手応えを感じます。

今年度の講座は別表の通りですが、一般教養・外国語・パソコンの三つの群がほぼ同数の応募者を集めました。応募者の数は八七二名で、そのうち女性が七〇五名と八〇%を占め、また新規応募者は四八三名でリピーターを上回っています。

毎回、人気が高い心理学講座には、八十名の定員に対して二四八名から受講申し込みがありました。応募者全員に了承を求め、抽選せず、主会場(三階教室・約二〇名収容)に入りきれなかった受講者には副会場(同四階教室・同)で受講していただきました。四階教室には主会場の映像と音声を送りました。



「精神分析の治癒概念」を講義する安岡馨教授
(社会連携センター301-302教室)

「英会話講座」「旅行初級」「日常初級」「日常中級」の三コースに合わせた七クラスを用意しましたが、七クラスの総定員一四〇名に対し三二八名もの応募があり、クラスを十四に倍増させて対処しました。「英会話」では初の試みとして午前クラス(十時~十二時)を二クラス募集したところ応募者は合計一三三名(定員合計四十名)に上りました。今後の午前帯の開発に

是非この機会に、札幌学院大学を『見て・聞いて・体験』して下さい。

オープンキャンパス

7月31日(木) 11:00~16:00 9月27日(土) 11:00~16:00

会場 札幌学院大学 50年記念館SGUホール ほか
内容 ミニ講義、個別相談会(入試・就職・資格など)、キャンパスツアー、クラブ見学、無料学食体験 ほか
申し込み 自由参加のため事前の申し込みは必要ありません。
※参加者には、入学案内・入試資料のほか、過去問題集やSGUオリジナルグッズをさしあげます。



「手話への誘い」の受講者たち

開設を記念して企画された。講師は全員が新研究科の教授、講座がワークシヨップ形式で進められるなど、受講者は新鮮な刺激を受けたようである。

人材不足と就職難というパラドクス

昨年度の新卒者の内定状況は大変厳しく、新聞社の採用状況調査でも、企業種の割合にわたって採用の絞り込みがあり、二〇％の内定減となった。

「就職氷河期」と呼ばれるこの状況に対して、本学では就職課、就職委員会を中心に検討を続け、様々な対策を試みているところである。

経済状況が厳しく、採用絞り込みを余儀なくされる企業、一方で通年採用や中途採用など採用形態の多様化を進め、即戦力の人材を求めている。この競争上、厳しいという企業環境の現実も、我々も理解できるところである。そして、即戦力型の人材育成を大学も行わなければならない時代にきている、とも喧伝されている。

しかし、現在の学生の職業意識、また企業の若年労働力

の利用の仕方を見ると、こうした時代の変化への対応は必要だが、社会全体の問題として深く考えていかなければならない問題であると認識することも必要であろう。

あいまいな職業感、自身の進路に対する漠然とした思いしか持ち得ないこと、フリーター指向や外への挑戦を躊躇することなど、最近の学生の職業意識の変化については、今や言い古された感があるが、これらのことから不透明さを増しているのは、経済の先行き感ではなく、今時の若者の考えといた方があつたのではないかと思われる。

そのことを示すかのように、昨夏、学校基本統計の速報値において、大学生数は二七八万人で過去最高となったが、就職率は五六・九％と六割

インターンシップで向上心とチャレンジ精神を

日本のインターンシップは、その定義および内容が議論されないまま走りはじめた。したがって、日本の大学や企業は右往左往しながらインターンシップを展開しているのが現状です。しかし、最近のインターンシップの大きな流れは、就職支援としての「体験型インターンシップ」と就職支援および研究支援としての「研究型インターンシップ」の二つがあります。

私たちは、「インターンシップ・プログラム」と称して、研究型インターンシップを商学部、経済学部、法学部の二、四年生の学生に提供しています。本プログラムは、通年科目で、その流れは「企業研究のための実践講座」四講座→「企業研修」→「インターンシップ」→「報告会・報告書の個別指導」→「受入企業への応募」→「報告書の作成」というものです。

このように本プログラムは、一般の講義とは違って、学生にはつきりとした成果が求められる、ねばり強く取り組まなければならない。したがって、これを履修している学生は、向上心やチャレンジ精神が豊かで、しかも企業研修を終え受入企業の担当者前で報告会を経験すると大きく成長します。この成長過程をみることは、教員として非常に喜ばしいことです。そして、受入企業の担当者からは、報告会や報告書に対し一定の評価をいただいております。

今後は、本プログラムにつ

下になり続け、また卒業生数五十四万八、〇〇〇人のうち、進学も就職もしていない者の比率が二・七％となり、それが増加を続けていることが明らかになった。大卒でも五人に一人が働く場を持たずにいると言つことである。

この数値は「働かない若者の急増」という表題をつけられ、様々なメディアでも報道されたところである。

確かに、職業観とか就職に対する意識が、いまになってきていと言えど、若者が「働かない」わけではなく、むしろ「働けない」と言わざるを得ない状況も、社会を失っている。企業内教育訓練に多くの人材と時間をかけているにもかかわらず、即効的な費用対効果を得られないようになっている。そして、低労働コスト化を積極的に展開している。現場労働やサービス労働におけるマニュアル化と若年労働力利用(アルバイト)は、その代表的なものの一つであろう。もちろん、今の経済状況からいわれる「若者」として、また家計維持のためにアルバイトをする若者もおり、それはそれで生きた学問をしていくことになるであろうから、アルバイトを否定することはできない。しかし、労働や職場、また社会における自己の果たすべき役割とか、自己というものを真剣に考える時間も機会もいままに、安手の労働力として利用され、その自らの小さな稼ぎを使つて、ひたすら豊かな社会における「消費者」として日々生きていく若者が、豊かな労働

2003 学生と職業

練に多くの人材と時間をかけているにもかかわらず、即効的な費用対効果を得られないようになっている。そして、低労働コスト化を積極的に展開している。現場労働やサービス労働におけるマニュアル化と若年労働力利用(アルバイト)は、その代表的なものの一つであろう。もちろん、今の経済状況からいわれる「若者」として、また家計維持のためにアルバイトをする若者もおり、それはそれで生きた学問をしていくことになるであろうから、アルバイトを否定することはできない。しかし、労働や職場、また社会における自己の果たすべき役割とか、自己というものを真剣に考える時間も機会もいままに、安手の労働力として利用され、その自らの小さな稼ぎを使つて、ひたすら豊かな社会における「消費者」として日々生きていく若者が、豊かな労働

木曜3講時は三年生の就職指導講時

新聞社がまとめた二〇〇四年度の採用計画調査によると、新卒採用予定者数は前年度実績見込み比に比べ〇・四％増と二年前に増加し、景気回復の足取りは依然重いが、リストラ等によって業績を回復軌道に乗せた企業を中心に、採用を増やす動きが徐々に広がっています。道内においても今春の採用を見送った企業の新卒採用にも明るさが見えてきています。

こうした環境の中で、今年も二月上旬から各地で合同企業説明会が開催されて採用試験も始まり、三月下旬には早くも内定者が出ています。この様に企業の採用活動は、年々「早期化」、「長期化」、「多様化」する傾向が進

練に多くの人材と時間をかけているにもかかわらず、即効的な費用対効果を得られないようになっている。そして、低労働コスト化を積極的に展開している。現場労働やサービス労働におけるマニュアル化と若年労働力利用(アルバイト)は、その代表的なものの一つであろう。もちろん、今の経済状況からいわれる「若者」として、また家計維持のためにアルバイトをする若者もおり、それはそれで生きた学問をしていくことになるであろうから、アルバイトを否定することはできない。しかし、労働や職場、また社会における自己の果たすべき役割とか、自己というものを真剣に考える時間も機会もいままに、安手の労働力として利用され、その自らの小さな稼ぎを使つて、ひたすら豊かな社会における「消費者」として日々生きていく若者が、豊かな労働

平成14年度決算・15年度予算

平成十五年五月二十八日を実施しました。改修工事等での経費支出に増加があり、院大第一四九回理事会並びに第一五〇回理事会において、平成十四年度決算並びに平成十五年度補正予算が承認されました。

平成十四年度決算の概要
平成十四年度は、大学院地域社会マネジメント研究科開設に伴う院生自習室等の改修工事やバリアフリーへの対応のため一号館エレベーター施設の増設工事や安全性確保のために防火扉の取替工事など

平成十五年度予算の概要
本年度の新規予算及び主要項目は次の通りです。

- ① 進路・就職適性検査の実施
- ② キャンパス駐車場整備
- ③ 一、三号館渡り廊下増設
- ④ 札幌学院大学国際交流基金の再計画
- ⑤ 特別講演の実施
- ⑥ 学生による授業評価の実施
- ⑦ 札幌学院大学奨学金の継続組入れ
- ⑧ 総合体育館建設資金の継続組入れ
- ⑨ 学生支援システムの導入
- ⑩ 教育環境の基盤整備
- ⑪ 職業観教育の導入とインターンシップの実施
- ⑫ シラバスの作成
- ⑬ FD導入の推進
- ⑭ 学外講師によるリレー講義・特別講演の実施
- ⑮ 学生による授業評価の実施
- ⑯ 課外活動奨励金制度の実施

	平成14年度決算	平成15年度予算
学生生徒等納付金	5,052,743	5,081,100
手数料収入	114,282	98,700
寄付金収入	5,780	14,000
補助金収入	344,874	317,400
資産運用収入	148,973	151,300
資産売却収入	769,625	11,000
事業収入	1,188	
雑収入	77,990	114,100
借入金等収入	6,450	20,000
前受金収入	913,370	876,800
その他収入	519,927	74,298
資金収入調整勘定	△948,485	△983,370
前年度繰越支払資金	2,301,227	2,754,609
収入の部合計	9,307,944	8,529,937
人件費支出	2,779,269	2,916,000
教育研究経費支出	992,706	999,600
管理経費支出	316,720	315,800
借入金等利息支出	17,696	11,944
借入金等返済支出	112,586	112,886
施設関係支出	195,477	57,200
設備関係支出	181,353	233,500
資産運用支出	1,902,060	1,530,000
その他の支出	135,700	123,989
予備費	0	57,000
資金支出調整勘定	△80,232	△95,284
次年度繰越支払資金	2,754,609	2,267,302
支出の部合計	9,307,944	8,529,937

	本年度末(平成14年度末)	前年度末(平成13年度末)	増減
固定資産	17,608,447	16,913,344	695,103
有形固定資産	12,106,412	12,214,926	△108,514
その他の固定資産	5,502,035	4,698,418	803,617
流動資産	8,471,281	8,107,498	363,783
資産の部合計	26,079,728	25,020,842	1,058,886
負債の部	1,624,366	1,718,455	△94,089
流動負債	1,165,693	1,170,993	△5,300
負債の部合計	2,790,059	2,889,448	△99,389

	平成14年度決算	平成15年度予算
学生生徒等納付金	5,052,743	5,081,100
手数料収入	114,282	98,700
寄付金収入	5,780	14,000
補助金収入	344,874	317,400
資産運用収入	148,973	151,300
資産売却収入	769,625	11,000
事業収入	1,188	
雑収入	77,990	114,100
借入金等収入	6,450	20,000
前受金収入	913,370	876,800
その他収入	519,927	74,298
資金収入調整勘定	△948,485	△983,370
前年度繰越支払資金	2,301,227	2,754,609
収入の部合計	9,307,944	8,529,937
人件費支出	2,779,269	2,916,000
教育研究経費支出	992,706	999,600
管理経費支出	316,720	315,800
借入金等利息支出	17,696	11,944
借入金等返済支出	112,586	112,886
施設関係支出	195,477	57,200
設備関係支出	181,353	233,500
資産運用支出	1,902,060	1,530,000
その他の支出	135,700	123,989
予備費	0	57,000
資金支出調整勘定	△80,232	△95,284
次年度繰越支払資金	2,754,609	2,267,302
支出の部合計	9,307,944	8,529,937

	本年度末(平成14年度末)	前年度末(平成13年度末)	増減
基本金	21,605,189	20,659,917	945,272
消費収支差額	1,684,480	1,471,477	213,003
小計	23,289,669	22,131,394	1,158,275

2003年度 入試結果

二〇〇三年度入試の志願者数は四、八四〇名(前年度五、六八三名)で、前年度比八六・四%、七六一名の減少であった。
この内訳は、一般入試が一四二四名(前年度一、九四七名)、大学入試センター試験利用入試(前期・後期)が、六五三名(前年度一、〇二四名)、推薦入試が七三四名(前年度六、八四四名)、特別入試(社会人・外国人・帰国生)が二九名(前年度二一八名)である。
全体としては、一般入試及びセンター利用入試で一割から二割弱の減少という厳しい結果であったが、唯一、推薦入試では一〇八・四%、五十八名の増加となった。特に社会情報学部では、前年度比一五八・七%で四十四名が増加している。
また、志願者の道内比率は八三・八%で、前年度より〇・三ポイント増加。女子比率は三二・二%で前年度より一・六ポイント増加という結果であった。
入試結果の詳細は別表の通りである。

2004(平成16)年度入学試験日程

研究科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
法学研究科	9月16日(火)~9月24日(水)	10月4日(土)	10月15日(水)	本学
臨床心理学研究科	同上	筆記 10月4日(土) 面接 10月5日(日)	同上	本学
地域社会マネジメント研究科	第1期 同上 第2期 1月27日(火)~2月2日(月)	10月5日(日) 2月14日(土)	同上 2月25日(水)	本学

2003(平成15)年度入試結果

一試験別・学科別概要

2003年4月1日現在

区分	学 科	志願者	受験者	合格者	競争率
一般入試	商 学 科 科	286	279	225	1.2
	経 済 学 科 科	541	531	248	2.1
	人 間 科 学 科 科	386	383	124	3.1
	英 語 英 米 文 学 科 科	173	170	93	1.8
	臨 床 心 理 学 科 科	404	398	123	3.2
	法 律 学 科 科	384	376	215	1.7
	社 会 情 報 学 科 科	250	243	194	1.3
計		2,424	2,380	1,222	1.9
センター試験 利用入試前期	商 学 科 科	202	202	162	1.2
	経 済 学 科 科	308	304	151	2.0
	人 間 科 学 科 科	199	198	93	2.1
	英 語 英 米 文 学 科 科	126	126	63	2.0
	臨 床 心 理 学 科 科	140	140	36	3.9
	法 律 学 科 科	209	208	167	1.2
	社 会 情 報 学 科 科	249	249	157	1.6
計		1,433	1,427	829	1.7
センター試験 利用入試後期	商 学 科 科	56	56	46	1.2
	経 済 学 科 科	28	28	5	5.6
	人 間 科 学 科 科	29	29	18	1.6
	英 語 英 米 文 学 科 科	20	20	3	6.7
	臨 床 心 理 学 科 科	13	13	5	2.6
	法 律 学 科 科	23	22	16	1.4
	社 会 情 報 学 科 科	51	51	48	1.1
計		220	219	141	1.6
推薦入試	商 学 科 科	122	122	122	1.0
	経 済 学 科 科	105	104	104	1.0
	人 間 科 学 科 科	121	121	82	1.5
	英 語 英 米 文 学 科 科	67	67	53	1.3
	臨 床 心 理 学 科 科	86	86	25	3.4
	法 律 学 科 科	114	114	114	1.0
	社 会 情 報 学 科 科	119	119	118	1.0
計		734	733	618	1.2
総 計	商 学 科 科	666	659	555	1.2
	経 済 学 科 科	982	967	508	1.9
	人 間 科 学 科 科	735	731	317	2.3
	英 語 英 米 文 学 科 科	386	383	212	1.8
	臨 床 心 理 学 科 科	643	637	189	3.4
	法 律 学 科 科	730	720	512	1.4
	社 会 情 報 学 科 科	669	662	517	1.3
計		4,811	4,759	2,810	1.7

注)競争率=受験者÷合格者

学部

試験区分	学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	試験場
推薦入試	人文学部英語英米文学科 人文学部臨床心理学科 法学部法律学科 商学部第一部商学科	11月1日(土)~11月13日(木) 必着	11月26日(水)	12月12日(金)	本学 青森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学科 社会情報学部社会情報学科		11月27日(木)		
	人文学部人間科学科 人文学部英語英米文学科 人文学部臨床心理学科	1月7日(水)~1月27日(火) 必着	2月7日(土)	2月21日(土)	本学 旭川 帯広 青森 仙台大
	法学部法律学科 商学部第一部商学科 経済学部経済学科 社会情報学部社会情報学科		2月8日(日)		
大学入試センター試験 前期日程	人文学部人間科学科 人文学部英語英米文学科 人文学部臨床心理学科 法学部法律学科 商学部第一部商学科	1月7日(水)~1月30日(金) 必着	1月17日(土) 1月18日(日)	2月21日(土)	大学入試センターが指定する会場
	経済学部経済学科 社会情報学部社会情報学科	2月19日(木)~3月3日(水) 必着		3月16日(火)	
海外帰国生	人文学部英語英米文学科 法学部法律学科 商学部第一部商学科	11月1日(土)~11月13日(木) 必着	11月26日(水)	12月12日(金)	本学 青森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学科 社会情報学部社会情報学科		11月27日(木)		
社会人	人文学部英語英米文学科 人文学部臨床心理学科 法学部法律学科 商学部第一部商学科	11月1日(土)~11月13日(木) 必着	11月26日(水)	12月12日(金)	本学 青森
	人文学部人間科学科 経済学部経済学科 社会情報学部社会情報学科		11月27日(木)		
外国人	臨床心理学科を除く全学科	11月1日(土)~11月13日(木) 必着	11月26日(水)	12月12日(金)	本学

教職員 人事

◎任命
平成十五年四月一日付
地域社会マネジメント研究科長
上田 陽三 新任
商学部長
高木 清 新任
経済学部長
佐々木 洋 新任
人文学部長
廣川 和市 新任
総合教育センター長
早田 和弥 新任
学生部長
片山 一義 新任
就職部長
山本 純 再任
電子計算機センター長
森田 彦 再任
図書館長
酒井 恵真 再任
広報入試部長
鶴丸 俊明 新任

◎採用
平成十五年四月一日付
安岡 馨
教授 臨床心理学実習A(分ウツセリシク)
前札幌佐藤病院副院長

◎退職
平成十五年三月三十一日付
中川 渡(教授)
畔柳 津田 光輝(教授)
由富門 眞治(教授)
神山 義治(教授)
小片 基(教授)
前田 武男(教授)
大杉 麻美(助教授)
C・B・サイモンズ(講師)
A・P・ボゼア(講師)
G・W・ウィラー(講師)
長川 峻(学生部就職課)

◎資格
平成十五年四月一日付
教授 新國三平代
教授 石井 和平
教授 小内 純子
教授 菅原 秀二
教授 松本伊智朗
助教授 山崎 哲景

千葉 寛樹
教授 税法
税理士・千葉寛樹事務所所長

曲田 統
助教授 刑法
前中央大学兼任講師

D・C・フレナー
講師 英語
前北星学園大学非常勤講師

野々川道子
教授 地歴科教育法 公民科
教育法
札幌家庭裁判所家事調停委員

新田 雅子
講師 老人福祉論A・B
立教大学社会学研究科社会学専攻博士後期課程修了

浅川 雅巳
助教授 経済原論
前法政大学経済学部兼任講師

D・W・ケイ
講師 英語
前北星学園大学非常勤講師

久米 舜田 弘子
助教授 心理学特殊講義A・B
(トピとコミュニケーション)
前仙台白百合女子大学専任講師

M・カートライト
講師 英語
前東京理科大学嘱託英語教師

浦島 俊一
学生部就職課
元日本ベリンガーインゲルハイム(株)



夜の学部交流会で盛り上がる新入生諸君。

2003 新入生オリエンテーション

毎年恒例の「新入生合宿オリエンテーション」が、四月七日(月)～八日(火)の一泊二日の日程で開催されました。定山溪温泉の二ヶ所のホテルを借り切り、経済学部、人文学部、法学部および社会情報学部の新入生一〇四三名、先輩学生一四二名、教職員七十三名の総勢一、二五八名が参加しました。この合宿オリエンテーションでは、新入生の不安軽減、仲間づくり等を主たる獲得目標として、各学部で様々な企画を催しております。経済学部では、経済学部長による基調講演や本学よさこいソーランチームによる演奏を楽しみました。人文学部は、同学部第一期卒業生で、現在アサティープネス・トレーナーとしてTV等で活躍中の姉帯美和子氏を招いた講演会を開催、社会情報学部でも同学部卒業生三名による講話会を開き好評を博しました。法学部では法律クイズを企画し、本学劇団サークル「サンスサン」のメンバーが身近な法律問題を題材にしたドラマを熱演し会場を沸かせました。合宿当夜は、全員揃って夕食をとった後、先輩学生の司会進行による学部交流会を開催、この頃には新入生の緊張もすっかりとけ、仲間と意気投合の様子が目立ちました。

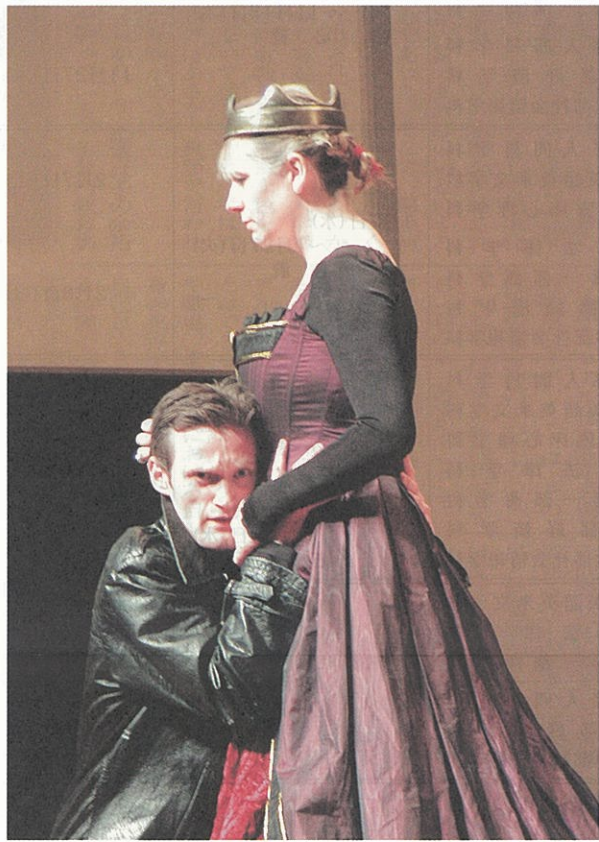
今年度は東国大学(韓国)からの留学生 金政廷さんと権成美さんも合宿に参加し、新入生との交流を深めました。

一方、商学部は今回の合宿には参加しませんでした。が、独自に大学内でオリエンテーションを行いました(四月八日)。新入生の疑問・質問に教職員等が答える「フリーセッション」や課外活動を紹介した「サークル説明会」等を実施しましたが、なかでも学生自治会企画による様々なゲームは教員も参加し大いに盛り上がりました。

今年度も成功裡に終わったこれらのオリエンテーションですが、実行委員の方々の協力はなほなほ現でなかなか出来ず、とりわけ学生実行委員として参加した先輩学生の方々には、企画の立案・運営、新入生の相談役等多面にわたって活躍していただき、皆様に心より御礼申し上げます。

「ハムレット」の上演が始まった。舞台を横切った置かれたベンチ、スカイブルー、赤、黒の大きな布が、道具立の殆ど全てを占める。観客の大半を占める学生達の興味を惹きつけることができるだろうか? 七人の役者が幾つもの役を演じ分ける舞台について行けるだろうか? 二時間二十分の英語で演じられる「ハムレット」を楽しむことができるだろうか? 近隣の高校や大学、一般の人々への広報、学生達への事前指導など準備が進むにつれて、これらの不安が膨らんで行つた。だが、嬉しいことに、これは全くの杞憂に終わった。

ヴァイオリンの調べと「もうあの人は帰らない」と繰り返される歌声にのせて、先王ハムレットの葬送が黙劇で演じられると、観客は瞬時に心を奪われたのだ。役者達



SGUホールで「ハムレット」を満喫

二〇〇三年五月二十八日午後六時SGUホールを満席にして、インターナショナル・シアター・カンパニー・ロンドンによる「ハムレット」の上演が始まった。舞台を横切った置かれたベンチ、スカイブルー、赤、黒の大きな布が、道具立の殆ど全てを占める。観客の大半を占める学生達の興味を惹きつけることができるだろうか? 七人の役者が幾つもの役を演じ分ける舞台について行けるだろうか? 二時間二十分の英語で演じられる「ハムレット」を楽しむことができるだろうか? 近隣の高校や大学、一般の人々への広報、学生達への事前指導など準備が進むにつれて、これらの不安が膨らんで行つた。だが、嬉しいことに、これは全くの杞憂に終わった。

「愛憎深くあるために冷酷である」とするハムレットは、ただ冷酷にしかれないのだ」と演出のポール・ステビンズ氏は言う。終幕で見たハムレットの笑いは「外れてしまったこの世の関節を直すために生きた」ハムレットの自嘲の苦い思いなのであるか? 「あは沈黙」というハムレット最後の台詞の投げ掛けた闇は深い。

学生達に課した感想文は、彼等が様々なレベルで英語劇「ハムレット」を鑑賞したことを受けてくれる。その中に

最大の収穫と喜びである。最後に、この上演に御尽力くださった皆様に、英語英米文学科一同から感謝申し上げます。

(人文学部教授 及川英子)



2003 (平成15) 年度 札幌学院大学公開講座

講座名	土曜公開講座	商学部公開講座	人文学部公開講座	法学部公開講座
テーマ	情報メディアと市民生活	情報技術と情報産業の未来	現代社会の新潮流 (ニューウェーブ)	アイヌ民族社会共有財産訴訟と先住権
概要	前半5回はインターネットに焦点をあて、その利用と活用について学び、後半5回はテレビ、ラジオなど身近なメディアを取り上げて、我々がおかれている今日状況の理解を深めます。	現在情報産業の最先端で活躍している実務家の方々に講師として招き、情報技術や情報産業の現状、そしてその将来の進むべき方向について理解を深めることを目的とします。	現代に新たに現れた社会活動を創造しつつある諸潮流に焦点をあてて、その活動の実態と現代社会における意義を探ることを目的とします。	講師には、先住権および先住民族の研究者、共有財産訴訟の原告、原告代表、弁護士、「アイヌ民族共有財産訴訟裁判を支援する全国連絡会」事務局長を招き、11回目の講義(12/4予定)ではシンポジウム「アイヌ民族共有財産訴訟の意義と課題」を行います。
開催日	5月10日～7月12日の毎週土曜日	9月1日(月)～9月6日(土)	9月1日(月)～9月6日(土)	9月25日～12月11日の毎週木曜日
時間	15:00～17:00	18:30～20:50	13:10～16:20	13:10～14:40
会場	札幌学院大学 1回～5回 江別市大麻公民館 6回～10回	札幌学院大学	札幌学院大学	札幌学院大学

法学部開設20周年記念 平成15年度 講演と音楽の夕べ

- ◎旭川市民講座
 - 7月11日(金) 午後6時30分
 - 大雪クリスタルホール音楽堂
 - 講演「どう変わる? これからの企業社会」
 - 講師 法学部教授 木下公明
 - 音楽「土田英順のチェロ名曲選」
 - チェロ 土田英順
 - ピアノ 林 絵里
- ◎函館市民講座
 - 10月3日(金) 午後6時30分
 - 函館市芸術ホール
 - ハーマニー五楼郭
- ◎第27回学術講演会
 - 11月5日(水) 午後6時30分
 - 札幌市民会館大ホール

平成15年度 父母懇談会

- ◎帯広市
 - 7月12日(土)
 - 帯広グランドホテル
 - ◎釧路市
 - 7月13日(日)
 - 釧路キャッスルホテル
 - ◎岩見沢市
 - 10月25日(土)
 - 岩見沢ホテルサンプラザ
 - ◎本学
 - 11月15日(土)
 - 50年記念館SGUホール
- いずれも対象となる地域の父母には一カ月前にご案内を郵送いたします。